

# 安全データシート

作成: 2017年7月11日

改訂: 2022年1月20日

## 1. 製品及び会社情報

整理番号 : KF105-04  
製品名 : エコフィット  
会社名 : クミアイ化学工業株式会社  
住所 : 東京都台東区池之端1-4-26  
担当部門 : 生産部 SQE推進課  
電話番号 : 03-3822-5180  
FAX番号 : 03-3827-0825  
緊急連絡先 : 同上  
推奨用途及び使用上の制限 : 農薬

## 2. 危険有害性の分類

最重要危険物有害性及び影響

GHS分類

物理化学性危険性	引火性液体	: 分類できない
	自己発熱性化学品	: 区分に該当しない
	自然発火性液体	: 区分に該当しない
健康に対する有害性	水反応可燃性化学品	: 区分に該当しない
	急性毒性(経口)	: 区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	: 区分に該当しない
	皮膚腐食性/刺激性	: 区分1
	眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	: 区分1
	呼吸器感作性	: 区分1
	皮膚感作性	: 分類できない
	生殖細胞変異原性	: 分類できない
	発がん性	: 分類できない
	生殖毒性	: 分類できない
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	: 区分1(血液)、区分2(呼吸器系)
	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	: 分類できない
	吸引性呼吸器有害性	: 分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	: 区分3
	水生環境有害性(慢性)	: 区分に該当しない

上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険

危険有害性情報

- ・重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
- ・吸入するとアレルギー、喘息または、呼吸困難を起こすおそれ
- ・臓器(血液)の障害

- ・長期または反復暴露による臓器(呼吸器系)の障害のおそれ

#### 注意書き

##### 【予防策】

- ・取り扱いの際には、飲食または喫煙をしないこと。
- ・粉塵/煙/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
- ・取り扱い後はよく洗うこと。
- ・換気が十分でない場合は、呼吸用保護具を着用すること。
- ・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・環境への放出を避けること。
- ・使用前に取扱い説明書を入手し、全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと

##### 【対応】

- ・飲み込んだ場合は、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の診断を受ける。
- ・吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- ・呼吸に関する症状が出た場合は、医師の診断を受けること。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- ・皮膚または髪に付着した場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚を流水またはシャワーで洗うこと。直ちに医師の診断を受けること。
- ・汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
- ・ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
- ・気分が悪い時は、医師の診断を受ける。

##### 【保管】

- ・施錠して保管すること。

##### 【廃棄】

- ・内容物、容器を法、条例に従って安全に処理する。または、都道府県知事の許可を受けた専門の産業廃棄物処理業者に委託して適切に処理する。

### 3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別: 混合物

化学名: 酢酸

成分及び含有量: 酢酸 15.0%

化学式:  $\text{CH}_3\text{COOH}$  / 酢酸

官報公示整理番号: 化審法 (2)-688 酢酸

CAS No.: 64-19-7 / 酢酸

### 4. 応急措置

目に入った場合: 直ちに清浄な流水で15分以上洗眼し、医療措置を受ける。

皮膚に付着した場合: 汚染した衣類、靴などは速やかに脱ぎ捨て、製品が付着した部分を水又はぬるま湯で十分に洗い流し、石鹼を使って洗浄する。

吸入した場合: 被災者を直ちに新鮮な空気のある場所へ移動し、衣服をゆるめて深呼吸させる。汚染された衣類や保護具を取り除く。多量に吸入した場合は、すぐには何も症状が認められなくても必ず医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合: 被災者を安全な場所へ移動し、直ちに医療措置を受ける。口の中に残っているものはぬぐったりして除去した後、多量の水や牛乳を与えて吐き出させる。ただし被災者に意識の無い場合はものを与えたり、吐き出させたりしてはならない。

### 5. 火災時の措置

消火剤: 水、泡、不活性ガス、ハロゲン化物、消火粉末を放射する消火器及び乾燥砂。

使ってはならない消火剤: データなし

消火活動上の注意: 燃焼又は高温により有毒なガスが生成するおそれがあるので、呼吸保護具を着用する。  
消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。液体の場合、燃焼源の供給を速やかに止める。

## 6. 漏出時の措置

作業者に対する注意: 屋内の作業の際には十分に換気を行う。作業の際には保護具(8. 暴露防止措置欄参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、飛沫を口に入れたり吸入しないようにする。

環境影響に対する注意: 流出した製品が河川に影響を及ぼさないように注意する。

流出物の処理に対する注意: 乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。

## 7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い上の注意: 秤量等の取扱いは換気のよい場所で行い、漏れ、あふれ、飛散がないようにし、みだりに蒸気や飛沫を発生させない。発散した蒸気を吸い込まないようにし、取り扱いの都度、容器を密閉する。

火災・爆発の防止: 周辺での高温物、スパーク、火気の使用を禁止する。

保管上の注意: 直射日光が当たらない冷暗所に保管し、異種物質の混入を避け、火気、熱源から隔離する。

## 8. 暴露防止措置

管理濃度: 設定されていない

許容濃度: 酢酸 TLV-TWA(10ppm)、STEL(15ppm) ACGIH(2010年)

酢酸 10ppm 日本産衛学会(2010年)

設備対策: 取り扱いについては、局所排気装置を併用する。有害物が環境中へ放出されないように、排気装置には除害設備を設ける。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための施設を設けることが望ましい。

保護具 酢酸を扱うのに適したマスク、不浸透性手袋、保護メガネ、作業着、帽子など

## 9. 物理・化学的性質

外観等	: 無色透明水溶性液体
臭い	: 刺激臭
pH (5倍希釈液)	: 2.49(参考値)
融点・凝固点	: データなし
沸点・初留点及び沸騰範囲	: データなし
引火点	: データなし(但し、引火性液体である酢酸を含む)
自然発火点	: データなし
燃焼性	: データなし
爆発下限及び爆発限界上限界/可燃性	: データなし
相対ガス密度	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び/又は相対密度	: 1.026(参考値)
溶解度	: 水に易溶
n-オクタノール/水分配係数(log値)	: データなし
分解温度	: データなし
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

## 10. 安定性及び反応性

化学的安定性	: 通常の保管環境下で安定
反応性	: データなし
危険有害反応可能性	: データなし
避けるべき条件	: データなし
混触危険物質	: データなし

危険有害な分解生成物 : データなし

#### 11. 有害性情報

急性毒性(経口) : 混合物は食品であり主成分の酢酸が区分5であるため区分に該当しないとした  
(参考) ラット LD<sub>50</sub> 3,310 mg/kg(酢酸)

急性毒性(経皮) : 混合物は食品であり主成分の酢酸が区分4であるため区分に該当しないとした  
(参考) ウサギ LD<sub>50</sub> 1,060 mg/kg(酢酸)

急性毒性(吸入:ミスト) : 混合剤及び主成分の酢酸のデータが無いため分類できないとした。  
(参考) ラット LD<sub>50</sub> 16,000 ppm以上 (酢酸・蒸気)

皮膚腐食性/刺激性 : 主成分の酢酸が区分1に分類されるため区分1とした。

眼に対する重篤な損傷/刺激性 : 主成分の酢酸が区分1に分類されるため区分1とした。

呼吸器感受性 : 主成分の酢酸が区分1に分類されるため区分1とした。

皮膚感受性 : 主成分の酢酸のデータが無いため分類できないとした。

生殖細胞変異原性 : 主成分の酢酸に関する知見が不足しているため分類できないとした。

発がん性 : 主成分の酢酸に関する知見が不足しているため分類できないとした。

生殖毒性 : 主成分の酢酸に関する知見が不足しているため分類できないとした。

特定標的臓器/全身毒性(単回暴露) : 区分1(血液系)、区分2(呼吸器系) (酢酸)

特定標的臓器/全身毒性(反復暴露) : 主成分の酢酸に関する知見が不足しているため分類できないとした。

誤えん有害性 : データなし(分類できない)

#### 12. 環境影響情報

混合物としてのデータは無いが、以下の情報から水生環境有害性は急性区分3、慢性区分に該当しないとした。

甲殻類 オオミジンコ : 24時間EC50 47 mg/l(酢酸)

残留性/分解性 : BODによる分解度 = 74%  
(酢酸、既存化学物質安全性点検データ)

オクタノール/水分分配係数 : Log Pow = -0.017 (酢酸)  
(酢酸、Physprop database(2005))

オゾン層への有害性 : データなし

その他 :

#### 13. 廃棄上の注意

使用量に合わせて使い切る。容器の洗浄水等は河川に流さない。

都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に処理を委託する。洗浄水等は、凝集沈殿、活性汚泥などの処理により清浄にしてから排出する。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

#### 14. 輸送上の注意

移送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。移送取り扱いは丁寧に行う。

国連分類 : クラス8(腐食性物質)

国連番号 : 2790(酢酸の含有率が10%~50%の液体)

国内規制

海上規制情報 : 船舶安全法の規定に従う。

航空規制情報 : 航空法の規定に従う。

陸上規制情報 : 道路法の規定に従う。

#### 15. 適用法令

農薬取締法 : 登録番号 第23862号

消防法 : 該当するかどうか未検討であるが、引火性液体を含むため、念のため火気には注意する。

労働安全衛生法	: 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9、政令番号176)(酢酸)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	: 該当しない
毒物劇物取締法	: 非該当
船舶安全法	: 腐食性物質(酢酸として)

## 16. その他

記載内容は、現時点で入手できた資料・情報に基づいて作成しておりますが、危険・有害性等に関して、いかなる保証をなすものではありません。注意事項については通常の取り扱いを対象としたものであり、特別な取り扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を講じて下さい。危険・有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取り扱いには十分注意して下さい。使用に当たっては、ラベルの注意事項を良く読んで下さい。

- 引用文献：
- 1) JIS Z 7252:2019 GHSに基づく化学品の分類方法
  - 2) GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針  
2019年6月 社団法人 日本化学工業協会
  - 3) 農薬中毒の症状と治療法 第18版 2020年4月 農薬工業会
  - 4) GHS文書 改訂第6版(2015年)

### 作成部署以外の連絡先

(財団法人)日本中毒情報センター

大 阪(年中無休、24時間)	一般市民向け相談電話(無料)	072-727-2499
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	072-726-9923
つくば(毎日9時~21時)	一般市民向け相談電話(無料)	029-852-9999
	医療機関専用有料電話(1件2,000円)	029-851-9999

※ ただし、上記の何れも通話料は相談者の負担となります。

※ 弊社製品に関する問い合わせにつきましては、医療機関専用有料電話の利用料(1件 2,000円)は弊社が負担いたします。